

子供の 居場所を 探したい!

1.



都内には、「安全」「安心」な子供や親子の居場所がたくさんあります。

それぞれに特徴があるので、子供の年齢や、

必要としているサポート内容に合わせて、

親子にとって居心地のよい場所を見つけてみましょう。

😞 赤ちゃんにも、私にも、友達づくりできる場はないかな？ 育児相談もできると助かる…

子育てひろば

就学前

利用
対象

0歳から3歳を中心とした乳幼児とその保護者
基本的に無料で利用できます。

利用
したい



東京都福祉局HP
都内の子育てひろばの紹介

「子育てひろば」って、どんなところ？

◎親子で遊べる！

遊具や絵本などがあり、乳幼児が安全に遊べる環境です。

◎育児相談ができる！

子育てひろばの職員に相談できます。

◎子育て仲間が見つかる！

同じ地域に住む子育て中の仲間との交流は心強いものです。

◎子育てに関する講座が受講できる！

「離乳食」「乳幼児期の遊び」など。気になる講座をチェックしてみましょう。



😞 ずっと家にいるとストレスもたまる… 子供たちが安心して遊べる場所はないかな？

児童館

就学前

就学後

利用
対象

0歳から18歳未満の
子供や保護者等
無料で利用できます。

利用
したい

利用したい児童館へ行き、自由に利用
できます。登録手続きや入館名簿
への記入が必要な場合もあります。

「児童館」って、どんなところ？

乳幼児から中高生まで幅広く利用できる施設です。様々な年代の子供たちが楽しく遊べる遊具やスペースがあるほか、子育て講座や地域交流のイベントなども開かれています。

児童館の職員は何をしてくれるの？

児童館には、専門の知識を持った指導員（児童厚生員）がいます。指導員は子供の遊びをサポートするほか、子育て中の保護者の相談などにも対応しています。

🗣️ 利用者の声

幼稚園入園前から児童館を利用していたおかげで、同い年や年上の友達もでき、安心して幼稚園生活を始めることができました！

職員に子育て中の悩みも
相談できるゾ～



☹️ 子供が小学生になったら、放課後はどんなところで過ごせるの？

放課後の子供の居場所は、大きく分けて2つあります

	学童 クラブ	就学後	放課後 子供教室	就学後
利用 対象	仕事などの理由で 日中保護者が家庭にいない 小学生		地域の子供（主に小学生）	
利用料金	料金はクラブにより異なる（育成料、 おやつ代など）。		基本的に無料。 ただし、保険料などの実費は別途。	
内容	遊び、工作、季節の行事などの活動 に加え、宿題や自主学習なども行う。		自由遊びに加え、学習、スポーツ、文化 活動、地域住民との交流などを行う。	
利用時間	開所日数年間250日以上が基本。平 日に加え、土曜日や夏休み期間中な ど、学校がない日も実施しているところ が多い。平日は放課後から19時ま でのところが多いが、申請すれば延長 できるところもある。		実施日及び実施時間は、教室によっ て異なる。	
場所・人数	児童館、小学校など クラブにより登録児童数は異なる。		小学校などの学校施設 教室により参加者数は異なる。	
職員等	原則、放課後児童支援員を2人以上 配置		地域住民のボランティアが主体（地 域コーディネーター、協働活動支援 員、協働活動サポーターなど）	
出欠確認	連絡帳や、保護者との連絡により出欠 確認を必ず行う。		参加・不参加は基本的に自由。 ただし、区市町村によっては出欠確認 があるところもある。	

利用
したい

お住まいの区市町村に
お問い合わせください。

🗣️ 利用者の声

子供が自由に遊んだり宿題をして
過ごせる場所が地域にあるので安
心！とても心強いです。

2つを比べて
みてるゾ～



他にもまだある！ 子供の居場所 子供食堂・学習支援 etc…

都内には、子育て世帯を支援するNPOやサークルなどが数多くあります。
ここで一部をご紹介します。あなたの近くの子育て支援関連の団体を探してみましょう！

親子でのんびり 親子で楽しく

乳幼児の親子が気軽に遊びに行けるひろばでは、情報交換や育児相談ができるほか、親子で楽しむイベントなども行っています。



写真提供：
NPO法人ゆったりーの
(新宿区)

地域の子供を 地域で守り育てる

子供が思いっきり外遊びできるプレーパークをはじめ、小学生への無料学習支援や子供食堂など、様々なカタチの居場所づくりをしています。



写真提供：
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
(豊島区)

中高生の 第三の居場所

中高生が安心して過ごせる場所です。勉強や読書はもちろん、音楽やスポーツを楽しむなど、過ごし方は自由。責任者として大人が常駐しています。



写真提供：
青少年ステーションCAPS
(調布市)

取材レポート

子供だけでも 安心して利用できる食堂！

子供食堂とは、子供が一人でも安心して入ることができる食堂のことです。食事代は大人300円前後、子供100円前後のところが多く、調理や配膳は地域のボランティアスタッフが担っていることがほとんどです。

大田区にある無農薬野菜と自然食品のお店「気まぐれ八百屋だんだん」は、毎週木曜日の夜になると子供食堂に早変わり。開店直後から、小学生が続々とやってきて、店内はあっという間に満席になります。中には、親子で夕食を食べに来る姿

もあり、みんなで食事をする様子は、まるで大家族の食卓のよう。「食事をしながら、学校での出来事を話す子もいれば、子育ての悩みを打ち明けるお母さんもいます。そういう意味では『まちの保健室』ともいえますから、気負うことなく、気軽にお越しいただきたい」（だんだんの店主）。

子供食堂に関する情報は「こども食堂ネットワーク」のホームページで調べることができます。



食堂の様子